

社会主義の完全な勝利をもたらさうる変革

……………ここでは労働組合は、なににもまして、近代共産主義の創設者のもっとも深遠な、注目すべき格言の一つ「歴史的行動が根本的であればあるほど、その行動をおこなう大衆の範囲は拡大する」〔補巻5、277 ページ〕を、熟考しなければならない。古い農奴制的貴族社会をとって見たまえ。そこでは、貴族または封建領主の一団から権力をとりあげて、他の一団に権力を引きわたすことが問題であったかぎり、変革はこっけいなほど容易であった。自分の普通選挙権を自慢しているブルジョア社会をとって見たまえ。ところが、実際には、この普通選挙権、この全機構が欺瞞に変わることを、われわれは知っている。というのは、勤労者の圧倒的多数は、もっとも先進的な、文化的な、民主主義的な諸国においてさえ、打ちのめされ、打ちひしがれ、資本主義的苦役によって打ちひしがれているため、実際には政治に参加しておらず、また参加することもできないからである。そして、いま人類史上はじめて、社会主義の完全な勝利をもたらさうる変革がはじまっている。ただそれには、新しい膨大な大衆が自主的に統治の仕事にとりかかることが条件となる。社会主義的変革が意味しているものは、国家形態の変更ではないし、君主制を共和制に代えることでもないし、人々の新しい投票でもない。こういう投票は、人々がまったく「平等」であることを前提としており、実際には、一方の人間は有産者で他方の人間は無産者だということを、人為的にあいまいにし、つつみかくすものである。ブルジョア社会の人々の見地からすれば、「民主主義」が存在する以上は、資本家とプロレタリアがこの投票に参加する以上は、これは「人民の意志」であり、「平等」であり、人民の願望の表明なのである。エーベルトやシャイデマンのような絞刑吏と殺人者を掩護するだけのこうした言辭が、いとうべき欺瞞であることを、われわれは知っている。ブルジョア社会では、ブルジョアジーが勤労大衆を統治してきた。少数者が、有産者が、すなわち資本主義文明の最高の防塞であり最高の精華である教養と科学を搾取の道具に変え、圧倒的多数の人間を奴隷状態に引きとめるための独占物に変えた資本主義的所有の参加者たちが、多少とも民主主義的な、あれこれの形態の助けを借りて統治してきた。われわれが開始した変革、われわれがすでに二年間も遂行しており、最後まで遂行しようとかたく決意している変革（拍手）——この変革は、われわれが新しい階級への権力の移行をなしとげるばあいだけに、ブルジョアジー、資本主義的奴隷所有者、ブルジョア・インテリゲンツィア、すべての有産者の、すべての所有者の代表者にかわって、新しい階級が、あらゆる行政分野で、下から上まで、国家建設の全事業に、新しい生活の指導という全事業に参加するばあいだけに、可能であり、実現できるのである。

これが、現在われわれの当面している任務である。この新しい階級が本や集会や演説によってではなく、自分の統治の実践によって教育されるときにはじめて、この階級がこの統治にもっとも広範な勤労大衆を参加させるときにはじめて、国家を統治し国家秩序を創設する仕事にすべての勤労者がたやすく順応することを可能にするような諸形態をこの新しい階級がつくりだすときにはじめて、社会主義的変革は強固なものとなりうるのである。そういう条件がそなわるときにはじめて、社会主義的変革は強固なものとならざるをえないのである。そういう条件がそなわるときには、社会主義的変革は、資本主義とそのすべ

での遺物とをわらくずとして、塵あくたとして、投げすてる勢力となるであろう。

これが、一般的にいて、階級の見地からみて、勝利の社会主義的変革の条件として、われわれが当面している任務である。この任務は資本主義社会の枠内にあつてさえ資本主義社会の廃止のためのもっとも広範な大衆闘争をめざしてきた諸組織の任務と、きわめて緊密に、また直接に接合している。だが、当時の諸組織のうちでは、労働組合がもっとも広範な組織であつたが、いまではそれは、形式的には引きつづき独立の組織でありながら、諸君に提案されている決議案中のある命題が言いあらわしているように、すべての国家機関の内部で直接に活動することにより、それらの国家機関の活動等々にたいする大衆的な監督を組織することにより、生産および分配全体の記帳、統制、調整のための新しい諸機関を創設し、利害関係をもつ広範な勤労大衆自身の組織的な自主活動に依拠する諸機関を創設することによって、ソヴェト権力の活動に精力的に参加することができるし、また参加しなければならないのである。

第 28 卷『労働組合第二回全ロシア大会での報告』P452～453

1919 年 1 月 20 日

ポイント

いま人類史上はじめて、社会主義の完全な勝利をもたらさうる変革がはじまっている。ただそれには、新しい膨大な大衆が自主的に統治の仕事にとりかかることが条件となる。

ブルジョア社会では、ブルジョアジーが勤労大衆を統治してきた。少数者が、有産者が、教養と科学を搾取の道具に変え、圧倒的多数の人間を奴隷状態に引きとめるための独占物に変えた、多少とも民主主義的な、あれこれの形態の助けを借りて統治してきた。われわれが開始した変革、われわれがすでに二年間も遂行しており、最後まで遂行しようとかたく決意している変革は、われわれが新しい階級への権力の移行をなしとげるばあいだけに、ブルジョアジー、資本主義的奴隷所有者、ブルジョア・インテリゲンツィア、すべての有産者の、すべての所有者の代表者にかわつて、新しい階級が、あらゆる行政分野で、下から上まで、国家建設の全事業に参加するばあいだけに、可能であり、実現できるのである。そのために、国家を統治し国家秩序を創設する仕事にすべての勤労者がたやすく順応することを可能にするような諸形態をこの新しい階級がつくりだすときにはじめて、社会主義的変革は強固なものとなりうるのである。

これが、現在われわれの当面している任務である。これが、一般的にいて、階級の見地からみて、勝利の社会主義的変革の条件として、われわれが当面している任務である。